

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月 日

兵庫県知事 殿

提出者

住所 加古川市平岡町土山
字コモ池の内648

氏名 バンドー化学株式会社加古川工場
工場長 藤田晋吾

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 078-942-3232

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	バンドー化学株式会社加古川工場
事業場の所在地	加古川市平岡町土山字コモ池648
計画期間	令和4年4月～令和5年3月
当該事業場において現に行っている事業に関する事項 別紙1, 2のとおり	
①事業の種類	1931 ゴムベルト製造業
②事業の規模	令和3年度実績 製品生産額 5,966百万円
③従業員数	331人 令和4年1月1日現在

④産業廃棄物の一連 の処理の工程	
---------------------	--

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙1, 2のとおり
(管理体制図)	

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙1, 2のとおり		
①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項	別紙1, 2のとおり
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

②計画

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		



(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

別紙1, 2のとおり

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	別紙1, 2のとおり		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	
(これまでに実施した取組)			



②計画	【目標】		別紙1, 2のとおり
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

備考

1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2 当該年度の6月30日までに提出すること。

3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書)
 現状：前年度(令和 3 年度)実績量
 計画：今年度(令和 4 年度)計画量

単位:トン/年

産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
0100燃え殻																				
0200汚泥	22	21	0	0	0	0	0	0	0	0	22	21	22	21			22	21		
0300廃油	15	15	0	0	0	0	0	0	0	0	15	15	2	2	2	2			13	12
0400廃酸	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2					2	2
0500廃アルカリ	35	33	0	0	0	0	0	0	0	0	35	33	35	33					35	33
0600廃プラスチック類	1,305	1,239	0	0	0	0	0	0	0	0	1,305	1,106	1,219	1,158	99	94	1,159	1,101	28	27
0700紙くず											0								0	
0800木くず	76	72	0	0	0	0	0	0	0	0	76	72	76	72	76	72	76	72		
0900繊維くず																				
1000動植物性残渣																				
1100ゴムくず																				
1200金属くず	14	13									14	13	0		14	13				
1300ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1	1									1	1	1	1						
1400鋳さい																				
1500がれき類																				
1600動物のふん尿																				
1700動物の死体																				
1800ばいじん																				
3500 廃電池類	0.07	0.07									0.07	0.07	0.00	0.00	0.07	0.07				
合計	1,470	1,396	0	0	0	0	0	0	0	0	1,470	1,262	1,357	1,289	191	182	1,257	1,194	78	74

別紙2（廃棄物処理法-産業廃棄物処理計画書）

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	1931 ゴムベルト製造業
②事業の規模	令和3年度実績 製品生産額 5,966百万円
③従業員数	331人 令和4年1月1日
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3

2 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項（管理体制図等，別紙を参照）

別紙3

3 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	<p>（これまでに実施した取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工程内の不良・ロス低減活動を行い、廃棄物量の抑制を行った。 ・廃棄物の分別を行い、焼却残渣のリサイクル化・低減を進めた。
②計画	<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前年度の結果をふまえ、各工程で課題化し、不良・ロス低減活動を実施する。 ・前年度に引き続き、廃棄物の分別を行い、リサイクル化や有価処理を進める。

4 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	<p>（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>一般廃棄物、紙（リサイクル）、ゴム屑、廃プラスチック、廃油、廃水、廃液、汚泥、金属くず、蛍光灯、瓶、ガラス、乾電池、木屑等</p> <p>上記の通りに分別し、管理を実施した。</p>
②計画	<p>（今後、分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</p> <p>廃プラスチックについて、分別できる物を選定していく。</p>

5 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実績なし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 計画なし。

6 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 実績なし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 計画なし。

7 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

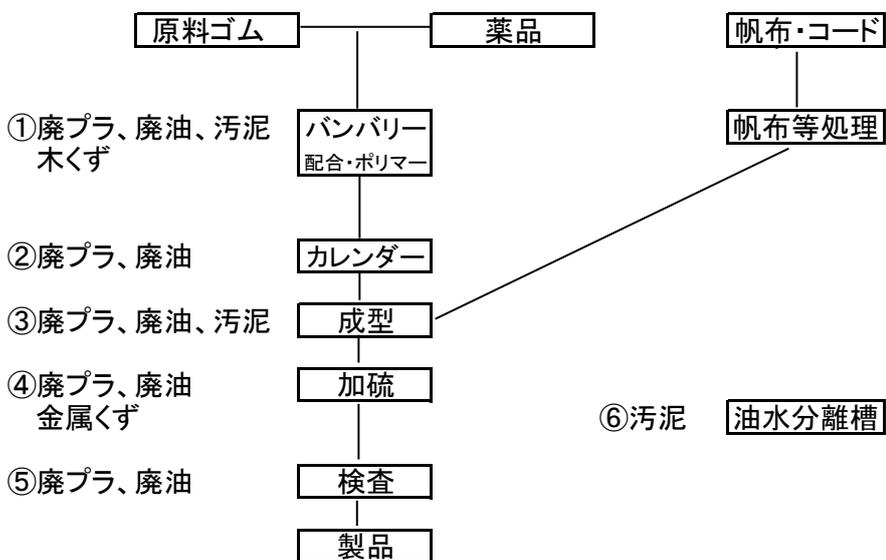
①現状	(これまでに実施した取組) 実績なし。
②計画	(今後実施する予定の取組) 計画なし。

8 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

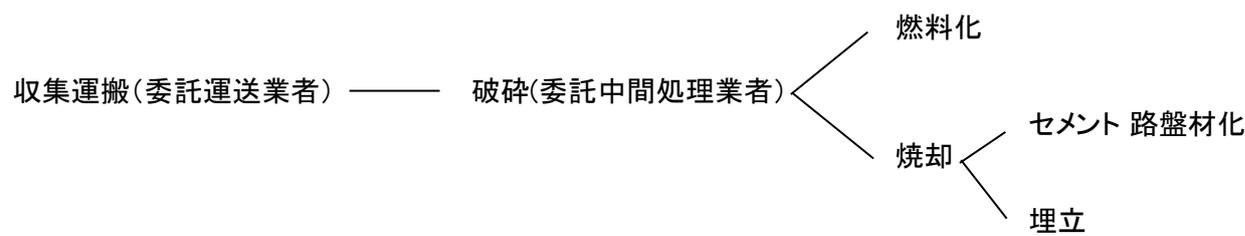
①現状	(これまでに実施した取組) 廃棄物処理業者の選定について、環境に配慮した廃棄物処理ができる業者を選定してきた。
②計画	(今後実施する予定の取組) 引き続き、廃棄物処理業者については、環境に配慮した廃棄物処理・方法ができる業者を選定していく。

当該事業場において行っている事業に関する事項

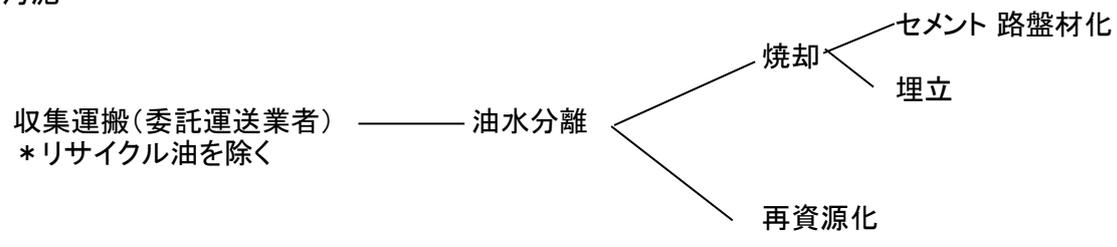
○産業廃棄物の一連の処理の工程



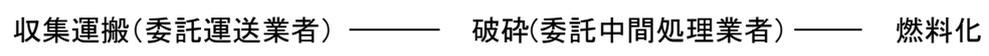
(1) 廃プラ



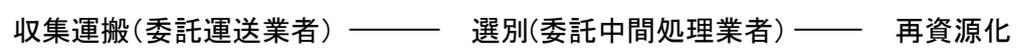
(2) 廃油、汚泥



(3) 木くず



(4) 金属くず



以上